

課題と対策

子ども達から挙がってきた意見や要望に関しては、施設の状況や法人とも相談し、同時に子ども達にも考えてもらい、実現可能なものは達成できるように努めていきます。

おもちゃがすくない

まんがをふやしてほしいなどの要望について

→本・おもちゃの予算をいただいたことで、子ども達に読みたい本や遊びたいおもちゃをそれぞれ考えてもらいました。欲しい物の希望がある子どもは、どれだけ欲しいと思っているかプレゼンをしてもらい、自分の意見に賛成する子どもの署名を集めてもらいました。署名が多かった物から購入することを子どもたちと決めました。

自分たちで遊ぶおもちゃを自分たちで選ぶことの楽しみを味わい、希望のおもちゃを通すために行った署名は、学年を超えた繋がりが生れることにもなりました。

子どもたちからの希望が出たおもちゃは、予算内でおさまり購入することができました。

ゆかがよごれていることがある

→自分達を使用している場所を掃除することで、より大切に使用してもらうために、17時前に全体で掃除の時間を設けました。学年ごとに床、本棚、おもちゃと分担を変えて行っています。

いやなことばがないがくどうがいい

→言葉遣いが乱れていることについて子ども達全体に話し合いをしました。言われて嬉しい言葉と嬉しくない言葉があり、言って良い言葉とそうじゃない言葉があるように相手を思いやる言葉をかけるようにしていこうと伝えました。また、北原白秋作の「ひとつのことば」という詩を紹介しました。

保護者の方に対して

子ども・保護者アンケートに加え、第2学童クラブでは保護者との個人面談を全家庭にお知らせし、多くの家庭（45家庭）に参加していただきました。面談の中で保護者に学童クラブへの要望や疑問などを伺い、保護者の方々と一緒に解消していくように努力していきたいと思えます。